

令和3年度

事業計画書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

社会福祉法人魚野福社会

社会福祉法人魚野福祉会 事業計画書

1. 法人経営の原則の遵守

社会福祉法人魚野福祉会は、法人定款第3条の規定に則り、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保に努め、もって地域福祉の推進を図るものとする。

2. 基本理念

優しさと思いやり

3. 基本方針

- (1) 何が入居者にとって幸せかを考える。
- (2) 専門的知識及び援助技術の向上を目指し、日々修練に努める。
- (3) 地域の福祉に貢献する。

4. 令和3年度重点目標

- (1) 安定的な事業運営
 - 1) 無駄のないサービス提供と安定的な稼働率の確保に努める。
 - 2) 人材の確保に努める。
 - 3) 情報等を開示し、透明な施設運営に努める。
 - 4) 施設設備の保守、点検に努める。
- (2) 高品質なサービスの提供
 - 1) 委員会及び係等の活発な活動の中で、提供しているサービス内容の見直しや改善を行い、サービスの質の向上を目指す。
 - 2) 利用者の重度化にともなう医療・看護ニーズや認知症等に適切な対応ができるよう、専門職の連携を強化して合理的なサービスの仕組みづくりに取り組む。
 - 3) システムの有効利用により利用者の状態や状況がわかる的確な記録を作成し、これらの情報を共有する。
 - 4) 担当者を明確にし、責任を持ったサービス提供を行う。
 - 5) どんな苦情も真摯に受け止め、適正なサービスの確認につなげる。
 - 6) 本人並びに家族の意向を尊重する。
- (3) 危機管理体制の強化
 - 1) 新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行う。
 - 2) 災害時の地域互助協力体制を構築していく。
 - 3) ひやりはつとを共有しリスクを確認していく。
 - 4) 個人情報管理を徹底する。
 - 5) 虐待に対する意識を高め、職員相互で確認していく。
- (4) 人材育成の強化
 - 1) 明確な共通目標及び自己目標を持った職員を育成する
 - 2) 高齢者福祉に関わる職員として、必要となるマナーや知識、技術を役付職員及び一般職員が共に学び、高めていき、全体のスキルの向上を図る。
 - 3) 事業所内の職種間で意思の疎通を図り、相互の理解を促進する。
 - 4) アセッサー制度の定着及び職員研修制度の構築を目指す。
- (5) 福祉貢献の強化
 - 1) ボランティア等を受け入れ、地域の福祉に応える。
 - 2) 地域の中で何ができるのか考え、地域のニーズに応える。

5. 会議予定

理事会（5月・10月・3月）

評議員会（6月・3月）

監事監査（5月）

施設運営会議（5月・9月・12月・2月）

6. 経営する社会福祉事業及び公益事業

（1）第一種社会福祉事業

特別養護老人ホームうおの園

ケアハウスやまなみ

魚沼市養護老人ホーム南山荘

（2）第二種社会福祉事業

老人短期入所事業（特別養護老人ホームうおの園）

（3）公益事業

生活管理指導短期宿泊事業（魚沼市養護老人ホーム南山荘）

7. 役員及び評議員（令和3年4月1日現在）

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	本田 建一		評議員	桐生 豊美	
業務執行	大淵 好文	事務局長	評議員	八木 鉄男	
業務執行	角家 一郎	南山荘施設長	評議員	佐藤 隆	
理事	井口 勝士		評議員	関 久一	
理事	山之内 宏		評議員	上村 輝三	
理事	草野 功		評議員	大淵 一郎	
			評議員	酒井 ヨシイ	
監事	渡辺 賢一				
監事	森山 正昭				

8. 職員配置状況（令和3年4月1日）

職種	本部		うおの園		やまなみ		南山荘		計	備考
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
事務局長/施設長	1	0	(1)	0	(1)	0	1	0	2	事務局長/うおの園・やまなみ兼務
医師	0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(2)	0	嘱託医（ほんだ病院/上村医院） 産業医（宮医院）
生活相談員	0	0	4(2)	0	1	0	3	0	8	社会福祉主事6名 社会福祉士2名
看護	2	0	3	4	1	0	1	0	11	看護師8名(出向4名) 准看護師3名
機能訓練指導員	0	0	1	1	1	0	0	0	3	作業療法士1名（出向1名） 言語聴覚士1名 准看護師1名
栄養士	0	0	1	0	1	0	1	0	3	管理栄養士3名
介護/支援員	0	0	38(5)	6	4	10(1)	10	3	71	介護福祉士33名 派遣2名
介護支援専門員	0	0	(7)	0	0	(1)	0	0	0	(生活相談員2名 介護6名)
総務	1	0	1	6	0	0	1	0	9	
管理運転/庁務員	0	0	3	0	0	0	1	1	5	
調理	0	0	0	0	0	0	5	1	6	調理師5名
計	4	0	51	17	8	10	23	5	118	()内の数字は兼務または嘱託

男性 39名 女性 79名 平均年齢 48歳7か月（出向及び派遣職員は除く） 平均在職期間 8年3か月

特別養護老人ホームうおの園 事業計画書

1. 施設が管理する事業

種 別	指定番号	有効期限	指定年月日
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 定員 70 名	1572300273	H34. 3. 31	H16. 4. 1
(介護予防) 短期入所生活介護 (老人短期入所事業) 定員 16 名	1572300158	H34. 3. 31	H16. 4. 1

2. 会議・委員会

- (1) 業務連絡会議 (毎月第3水曜日 10:00～)
 - ・各種会議委員会の連絡調整
 - ・職種間の連携の調整
 - ・業務における問題や意見などの抽出、検討
- (2) ユニット会議 (毎月1回)
 - ・ユニットにおける問題や意見などの抽出、検討
- (3) 主任・リーダー会議 (毎月第3水曜日 16:30～)
 - ・主任・リーダー間による連絡調整
- (4) 入所検討委員会 (3か月に1回)
 - ・入所順位の決定
- (5) 安全衛生委員会 (毎月第3水曜日)
 - ・労働基準法に基づく委員会
 - ・労働環境等においての問題や意見などの抽出、検討
- (6) 栄養会議 (6.9.12.3月第3水曜日)
 - ・給食計画、調理室の保健衛生、給食の調査及び改善の検討
- (7) 感染対策委員会 (奇数月第2水曜日 16:30～)
 - ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (8) 安全対策委員会 (毎月第1金曜日 16:15～)
 - ・ひやりはっと及び事故防止の検討及び対策の検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (9) 褥瘡対策委員会 (偶数月第2水曜日 16:30～)
 - ・褥瘡の現状を把握し検討及び対策の検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (10) ケアプラン委員会 (毎月第2金曜日 16:30～)
 - ・ケアプランに関する検討
- (11) 医療ガス安全管理委員会 (年1回)
 - ・医療ガス設備の安全管理及び利用者の安全の確保のための検討
- (12) 虐待防止委員会 (偶数月第2月曜日 16:30～)
 - ・抑制や拘束の現状を把握及び対策の検討
 - ・虐待防止に関する検討
 - ・マニュアルの見直し
- (13) 苦情処理委員会 (必要時)
 - ・苦情の原因の分析及び対策の検討
 - ・苦情の相談及び解決
- (14) 吸引等安全対策委員会 (3か月に1回)
 - ・マニュアルの見直し

- ・問題や意見などの抽出、検討
- (15) システム委員会（必要時）
 - ・福祉見聞録ソフトの効率的な運用の検討
- (16) 排泄係、移動係、入浴係、口腔ケア係（必要時）
 - ・マニュアルの見直し
 - ・問題や意見などの抽出、検討

3. 個別目標

(1) 介護

こぶし

- 1) 相手を思いやり、相手の立場になって考える。
- 2) 入居者個人の幸せを考え、その人らしい生活を大切にする。
- 3) 快適に暮らせるよう、環境整備に努める。

ききょう

- 1) 入居者、職員共に思いやりのある言葉や態度で接する。
- 2) 明確な記録を作成し、入居者の情報を共有する。
- 3) リスクの早期発見と速やかな対応策の検討を行う。
- 4) 日々の業務や関わり方の見直し・改善を行い、サービスの品質向上を目指す。

ぶな

- 1) 優しさと思いやりの気持ちを忘れずに、入居者の立場で物事を考える。
- 2) ひやりはっとの情報を共有し、再発の防止に努める。
- 3) 入居者、家族の意向を尊重し、一人ひとりに合わせたケアを行う。

しゃくなげ

- 1) 24時間シートを活用し、入居者一人ひとりの生活リズムを大切に、その人に合った生活を支援する。
- 2) ひやりはっと対策を活かし、リスクの軽減に努める。
- 3) 入居者が日々の生活を楽しみ、充実感を持って過ごせるよう努める。

八海山

- 1) システムを活用し、入居者の状態や状況が分かる的確な記録を作成し、情報共有しながらケアに活かす。
- 2) 高齢者福祉に携わる職員として必要なマナーや知識・技術などのスキルを高める。
- 3) 感染に対する知識をそれぞれが理解し、緊急時は速やかに対応できるようにしておく。

駒ヶ岳

- 1) 何が入居者にとって必要かを考える。
- 2) 介護職員として責任感を持ち介助を行なう。
- 3) 入居者と家族の意向を尊重した介助を行なう。
- 4) 情報共有をしっかりと行い、リスク軽減に努める。

中ノ岳

- 1) 利用目的を把握したサービスの提供を行い、定期的な利用確保に努める。
- 2) 利用者や家族が安心して信頼できるよう情報伝達を行い、サービスの向上に努める。
- 3) 言葉使いや態度に留意し、笑顔で過ごせるように努める。
- 4) 職員同士で意見を言い合える環境づくりに努める。

(2) 看護

- 1) 入居者の職員の健康管理に努める。
- 2) 不安が軽減できるよう相談を受け、入居者との信頼関係を築く。
- 3) 他職種及び嘱託医と連携して入居者のニーズに対応する。
- 4) 不適切ケアが行われていないかを職員間で確認する。
- 5) 職種間での意思疎通を図り、理解を深めるよう努める。

(3) 生活相談

- 1) 本人と家族の意向を尊重し、安心して生活できるよう努める。
- 2) 入居者が医療機関への入院に至らないよう日頃の健康状態に留意することで、稼働率の高位平準化に寄与する。
- 3) 円滑な業務を行うため、多職種との連携に努め情報の共有を行う。
- 4) 転倒、誤薬などを減らすため、関係するケアの統一を目指す。

(4) 介護支援専門員

- 1) ご本人、ご家族の意向を尊重し、施設サービス計画に反映させる。
- 2) 入居者の重度化に伴う多様なニーズに対応できるよう、多職種間と連携を保ち、バランスの取れた施設サービス計画の作成を目指す。
- 3) 職員が施設サービス計画の意味・内容を理解しケアできるよう、また、計画立案のノウハウを指導・助言を行う。
- 4) 情報専門雑誌や配信レッスンなどを活用し、専門的知識を深めるよう努力する。

(5) 機能訓練

- 1) 入居者の安全を第一に考えて活動に取り組む。
- 2) 感染症等の対策に考慮しながら活動を実施する。
- 3) 入居者が心身ともに健康的で、安心して参加できる計画を立案し、実施する。
- 4) 多職種と連携し、チームで質の高いサービスの提供を目指す。
- 5) 内・外部での研修会等に積極的に参加して自己研鑽に励みます。

(6) 栄養

- 1) 一日でも長く口から安全に食事ができるよう、多職種連携に努める。
- 2) 希望や要望、季節感を取り入れ、家庭的な雰囲気が味わえる食事作りに努める。
- 3) 入居者の栄養状態を反映させた栄養ケア計画を作成し、多職種協働で取り組む。

(7) 総務

総務

- 1) 電話や来園者への対応で不快な思いをさせない。
- 2) 備品や消耗品を管理し、不足がないようにする。
- 3) 他職種と連携し、コミュニケーションを取る。
- 4) 現場の要望に素早く対応できるようにする。
- 5) 計画を立てて、期日までに日々の業務を行う。

管理運転

- 1) 施設・設備の適切な保守・点検に努める。
- 2) 利用者からの苦情は真摯に受け止め、満足できるサービスにつなげる。
- 3) 災害時の地域相互協力体制を構築していく。
- 4) 事業所内の多職種間で意思の疎通を図り、相互理解を促進する。
- 5) 地域の中で何ができるのかを考え、地域のニーズに応える。

4. 行事・研修予定

月	ユニット行事	施設行事	栄養	内部研修/勉強会
4月	こぶし お花見 ききょう お花見 ぶな お花見 八海山 お花見 駒ヶ岳	入居者健康診断 職員健康診断 春の演芸会（まん さくの会） 桜花会（一芸会）	生寿司	

月	ユニット行事	施設行事	栄養	内部研修/勉強会
	お花見 中ノ岳 桜飾り 各ユニットで誕生会			
5月	こぶし バスハイク ぶな お花見 しゃくなげ お花見 八海山 お花見 駒ヶ岳 お花見 中ノ岳 鯉のぼり飾り 各ユニットで誕生会	出前コンサート (小千谷ロータリー混声合唱クラブ) 端午の節句(堀之内民謡保存会)	行事食	事故予防研修
6月	こぶし バスハイク ききょう バスハイク 駒ヶ岳 茶話会 中ノ岳 あじさい飾り 各ユニットで誕生会	お楽しみ会(こでまり会)	選択メニュー	感染予防研修 主任研修
7月	八海山 お茶会 駒ヶ岳 納涼会 中ノ岳 アイスパフェ 各ユニットで誕生会	入居者採血 七夕会(つくし保育園) 納涼会(伊米ヶ崎保育園)	七夕 土用の丑の日	看取り研修
8月	ぶな 小出祭り しゃくなげ 小出祭り 八海山 お茶会 駒ヶ岳 小出祭り 中ノ岳 オリンピックを見て楽しむ 各ユニットで誕生会	フラダンスショー (ヴィーナシアロハ)	お盆	主任研修 認知症研修
9月	八海山 紅葉狩り	秋祭り 敬老会	敬老の日 お彼岸	口腔ケア研修

月	ユニット行事	施設行事	栄養	内部研修/勉強会
	中ノ岳 敬老会 各ユニットで誕生会			
10月	こぶし 紅葉狩り ぶな バスハイク 八海山 紅葉狩り 駒ヶ岳 紅葉狩り 中ノ岳 運動会 芋のお菓子 各ユニットで誕生会	入居者採血 職員健康診断（深夜業） 運動会（伊米ヶ崎小学校） 秋の演芸会（まんさくの会）	運動会	感染予防研修 主任研修
11月	ききょう 紅葉狩り ぶな バスハイク しゃくなげ 御神送り 駒ヶ岳 紅葉狩り 中ノ岳 紅葉飾り 各ユニットで誕生会	紅葉会（ひがし保育園） お遊戯会（めぐみ幼稚園） インフルエンザ予防接種	おでんパーティー	事故防止研修
12月	こぶし クリスマス会 ぶな 演芸大会 しゃくなげ 御神迎え 八海山 クリスマス会 忘年会 駒ヶ岳 クリスマス会 中ノ岳 クリスマス飾り 各ユニットで誕生会	インフルエンザ予防接種 ストレスチェック クリスマス会（佐梨保育園） サンタプレゼント	クリスマス	褥瘡予防研修 主任研修
1月	しゃくなげ 新年会 八海山 新年会 駒ヶ岳 新年会 中ノ岳	小正月獅子舞	お正月	虐待防止研修

月	ユニット行事	施設行事	栄養	内部研修/勉強会
	正月飾り 各ユニットで誕生会			
2月	駒ヶ岳 節分 中ノ岳 バレンタイン チョコ作り 各ユニットで誕生会	豆まき	節分	痰吸引研修 主任研修 係発表
3月	こぶし ひな祭り ききょう ひな祭り ぶな 八海山 豆まき 駒ヶ岳 ひな祭り 中ノ岳 ひな祭り 各ユニットで誕生会	ひな祭り（清心保 育園）	ひな祭り お彼岸	褥瘡予防研修 うおの園発表

※外部研修については、適宜施設長が認めたものに参加する。

5. 施設・設備整備

- (1) 建物、設備の点検・修繕（随時）
- (2) 備品の点検・修繕（随時）
- (3) 介護備品の購入
- (4) 厨房備品の購入
- (5) 事務備品の購入

ケアハウスやまなみ 事業計画

1. 施設が管理する事業

種 別		指定番号	有効期限	指定年月日
軽費老人ホーム (ケアハウス)	定員 30名	—	—	H20.4.1
(介護予防) 特定入居者生活介護		1572300612	R7.3.31	H20.4.1

2. 会議・委員会

- (1) 業務連携会議（毎月第3金曜日）
 - ・各種会議委員会の連絡調整
 - ・職種間の連携の調整
 - ・業務における問題や意見などの抽出、検討
- (2) 入所判定委員会（3か月に1回）
 - ・入所順位の決定
- (3) 栄養会議（6・9・12・3月第3水曜日）
 - ・給食計画、調理室の保健衛生、給食の調査及び改善の検討
- (4) 感染対策委員会（奇数月第3水曜日 16:30～）
 - ・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (5) 安全対策委員会（毎月第1金曜日 10:00～）
 - ・ひやりはっと及び事故防止の検討及び対策の検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (6) 褥瘡対策委員会（偶数月第2水曜日 16:30～）
 - ・褥瘡の現状を把握し検討及び対策の検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (7) ケアプラン委員会（4・7・10・1月第1金曜日 16:30～）
 - ・ケアプランに関する検討
- (8) 行事委員会（毎月第4火曜日 16:30～）
 - ・施設行事の検討及び実施
- (9) 虐待防止委員会（偶数月第2月曜日 16:30～）
 - ・抑制や拘束の現状を把握及び対策の検討
 - ・虐待防止に関する検討
 - ・マニュアルの見直し
- (10) 苦情処理委員会（必要時）
 - ・苦情の原因の分析及び対策の検討
 - ・苦情の相談及び解決
- (11) システム委員会（必要時）
 - ・福祉見聞録ソフトの効率的な運用の検討

3. 個別目標

- (1) 介護
 - 1) 入居者の話を傾聴し、困りごとなどを話しやすい関係をつくる。
 - 2) 笑顔で声かけをし、コミュニケーションを取る。
 - 3) 馴れ合いにならず、相手を不快にさせない言葉がけをする。
 - 4) 入居者の体調の変化に早期に気付けるよう心がける。

(2) 看護

- 1) 入居者の心身の不安や悩み、体調変化に寄添い支援する。
- 2) 入居者と職員の健康管理に努める。
- 3) 他職種と連携し、入居者のニーズに対応する。

(3) 生活相談

- 1) 入居者にとって何が幸せか考える。
- 2) 家族との連絡を密にして情報を共有する。
- 3) 個人情報の管理を徹底する。

(4) 機能訓練

- 1) やまなみでの生活において、入居者が張り合いを持てるような支援を心がける。
- 2) 入居者の個々にあった支援を探り、機能低下防止のお手伝いをする。
- 3) コロナ禍が落ち着いたら、地域の方々と連携を取りながらボランティアとの交流を図る。
- 4) 他職種と協力し、共通理解のもと適切な援助ができるよう心がける。
- 5) 専門職として、自分自身の知識や技術を高める努力をする。

(5) 栄養

- 1) 季節が感じられる食事内容で、心も体も豊かに過ごせる献立づくりに取り組む。
- 2) 入居者の健康維持のため、他職種との連携に努める。
- 3) 入居者、家族、地域住民と食を通して協力・連携していくよう努める。

4. 行事・研修

月	行事	栄養	内部研修/勉強会
4月	職員健康診断 ボランティア おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔ばなしの会 水曜倶楽部 お花見お茶会	創立記念弁当	特別養護老人ホームうおの園と合同で行う 外部研修についても必要なものに適宜参加する。
5月	入居者全員健診 バスハイク おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔ばなしの会 水曜倶楽部 移動売店	端午の節句	やまなみ発表 やまなみ内部研修
6月	おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	野外食	
7月	七夕会 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	七夕そうめん 赤ちょうちん	

月	行事	栄養	内部研修/勉強会
8月	スイカ割り おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	お盆料理 選択食	
9月	秋祭り 敬老会 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	敬老祝膳 お彼岸(おはぎ)	
10月	バスハイク 運動会 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	収穫祭 防災食訓練	
11月	インフルエンザ予防接種 職員健康診断(深夜業) 入居者秋の健診 作品展 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	鍋パーティー	
12月	クリスマス会 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	クリスマスパーティー 忘年会	
1月	かるた大会 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	おせち料理	
2月	節分 おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	節分料理 寿司パーティー	

月	行事	栄養	内部研修/勉強会
3月	ひな祭り おやつ作り やまなみ喫茶 魚沼昔話の会 水曜倶楽部 移動売店	ひな祭り お彼岸(ぼたもち)	

5. 施設・設備整備

- (1) 建物の設備の点検、修繕(随時)
- (2) 備品の点検、修繕(随時)
- (3) GHP(2階居室系統)の更新

魚沼市養護老人ホーム南山荘 事業計画

1. 施設が管理する事業

種別	指定番号	有効期限	指定年月日
養護老人ホーム 定員 50 名	—	—	S44. 6. 1
生活管理指導短期宿泊事業 定員 4 名	—	—	H5. 6. 2

2. 会議・委員会

- (1) 業務連携会議（毎月第 2 水曜日 14：30～）
 - ・各種委員会及び出席会議等の報告・調整
 - ・職種間の連携の調整
 - ・業務における問題や意見などの抽出、検討
 - ・食事について多職種で内容検討
 - ・業務スケジュールの調整南山荘分)
 - ・安全衛生推進について
- (2) 処遇会議（毎月 2 回 10：30～）
 - ・個人別処遇表検討・評価
 - ・個別栄養ケアについて検討
 - ・処遇に関わる問題について検討。
- (3) 支援員会議（毎月第 2 木曜日 11：00～）
 - ・行事に関すること
 - ・処遇困難ケース検討・対応確認
 - ・身体拘束に関すること
- (4) 厨房会議（毎月 1 回 14：00～）
 - ・実施献立案の検討
 - ・行事食について。
 - ・ヒヤリハットに関すること
- (5) 安全対策委員会（3 か月毎 15：30～）
 - ・施設内の安全点検
 - ・防災訓練計画・反省
 - ・ヒヤリハット及び事故防止の検討及び対策
 - ・マニュアルの見直し
- (6) 感染対策委員会（3 か月毎 15：30～）
 - ・感染症対策
 - ・保健衛生
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (7) 虐待防止委員会（3 か月毎 15：30～）
 - ・抑制や拘束の現状を把握及び対策の検討
 - ・虐待防止に関する検討
 - ・マニュアル及び指針の見直し
- (8) 研修委員会（3 か月毎）
 - ・職員研修の企画運営
- (9) 苦情処理委員会（必要時）
 - ・原因の分析及び対策の検討
 - ・苦情の相談及び解決

- (10) 常会（毎月1日9：30～）
 - ・月行事の説明
 - ・各部所からの連絡
 - ・入所者の要望などについて意見交換
- (11) 広報委員会（必要時随時）
 - ・南山荘だよりの発行
 - ・入所者の日常の様子の写真掲示

3. 個別目標

(1) 支援員

- 1) 入所者個々を尊重し相手の気持ちになって支援する。
- 2) 担当する入所者含め入所者と関わりを多く持ち信頼関係を築いていく。
- 3) 業務内の小さな気づきや問題を声に出し多職種で相談し支援していく。
- 4) 安全に生活できるよう居室の整理や荘内の環境整備を行う
- 5) 荘内で出来るクラブやレク行事などを考えて楽しく生活ができるよう支援していく。

(2) 看護

- 1) 優しさと思いやりの気持ちを大切にしてお入所者に接する。
- 2) 入所者の体調変化を観察し、異常時には早期対応に努める。
- 3) 感染症対策に努め、情報共有し早期発見、対応する。
- 4) 家庭らしさ、その人らしさを考え、本人・身元・多職種と連携して医療に繋げる。

(3) 生活相談員

- 1) 入所者の意思及び人格を尊重し、その立場に立った処遇を行うよう努めるとともに個別計画を作成し、自立した日常生活を営むことができるよう支援する。
- 2) 適切な相談援助が行えるよう、知識習得と技術の向上に努める。
- 3) 地域のセーフティーネットとしての役割を意識し、様々な利用目的の利用に対し関係機関や多職種と連携し適切な支援に努める。
- 4) 地域の一員として地域の方と協力し災害時に備え、また行事や研修に招待し交流を深め連携に繋げる。

(4) 栄養・調理員

- 1) 入所者と偏りなくコミュニケーションをとり、食事への小さな声も聞き入れてみんなに満足して頂けるように努める。
- 2) ノロウイルスやコロナウイルスなど感染時の食事対応について計画的に訓練し、いつでも対応できるよう把握する。
- 3) 食べやすく、見た目でも入所者に楽しんで食べてもらえるよう工夫し、より満足して食べていただけるよう考える。
- 4) 厨房内の衛生管理、保守点検に努め安全な食事を提供する。
- 5) 適時適温食事提供に努め温かい料理はできるだけ温かく夏場は冷たい料理の温度にも気を付ける。

(5) 総務

- 1) 現場職員と連携し他部署の取り組みを把握し、後方支援に努める。
- 2) 関係機関との連絡を密にし適切な施設運営に努める。
- 3) 消耗品備品類等の所在場所を明確にし、災害・感染症等発生時に即座に対応できるよう準備する。
- 4) 施設・設備の的確な保守管理運営のため、簡易的な操作マニュアルを整える。

4. 行事・研修

月	行事	看護	栄養	内部研修/勉強会
4月	春のお茶会① 外出サポート 誕生会	職員健診	春の和会席 希望献立 料理レク	
5月	春のお茶会② バス旅行 外出サポート 誕生会		屋外食 希望献立 料理レク	安全対策研修① 防災訓練①
6月	運動会 衣類販売 菖蒲湯 外出サポート 誕生会	感染対策基本研修 (職員研修)	さなぶりごっつお 希望献立 料理レク	虐待防止研修①
7月	納涼大会 外出サポート 誕生会	研修医勉強会 (職員対象)	納涼祭屋台 七夕献立 希望献立 料理レク	感染予防研修① 防災訓練②
8月	夏のお茶会・花火鑑賞 お盆供養・折立神輿 外出サポート 誕生会		お盆料理 希望献立 料理レク	虐待防止研修②
9月	敬老会 外出サポート 誕生会	入所者健診	敬老会お祝い弁当 彼岸のおはぎ 希望献立	防災訓練③
10月	秋のお茶会 妻有荘交流会 衣類販売 外出サポート 誕生会	入所者胸部 XP 夜勤従事者健診 ノロウイルス吐物処理研修 (職員)	災害食訓練 希望献立 料理レク	感染予防研修②
11月	みんなで歌おう会 合唱祭 誕生会	インフルエンザワクチン接種 (入所者)	収穫祭献立 希望献立 料理レク	安全対策研修②
12月	忘年会&クリスマス会 誕生会 ゆず湯	ストレスチェック	寿司バイキング 希望献立 料理レク	虐待防止研修③
1月	冬のお茶会 (正月遊び) 誕生会		おせち料理 小正月料理 希望献立 料理レク	
2月	節分 作品展 誕生会		節分料理 希望献立 料理レク	防災訓練④
3月	地域交流会 ひな祭り&お茶会 講演会 誕生会	入所者健診	ひな祭り献立 彼岸のぼたもち 希望献立	施設・ユニット発表会 (事例検討研修)

- ※毎月1回上村先生入所者往診・入所時随時健診。
- ※4ヵ月に1回本田先生入所者往診・職員雇入時随時健診
- ※外部研修については、適宜施設長が認めたものに参加する。

5. 施設・設備整備

- (1) 建物の設備の点検、修繕(随時)
- (2) 備品の点検、修繕(随時)
- (3) 厨房備品の購入
- (4) 事務備品の購入